高体連会報
青春の躍動

発行
島根県高等学校体育連盟
TEL（0852）26・3842
FAX（0852）26・3695
発行人◇高橋泰幸
編集◇高体連研究部
印刷◇㈲松本印刷

南東北総体を終えて

島根県高等学校体育連盟
会長　高橋泰幸

今夏のインターハイは「繋がる絆　魅せよう僕らの若き力」をスローガンに、山形・宮城・福島の南東北三県と和歌山県で開催されました。

大会中盤で〝長寿台風〟五号接近という事態にも遭遇しましたが、地元の皆さんのご尽力によりすべての日程が終了しました。毎年のことながら、献身的なスタッフあってこその大会であることを痛感します。改めて感謝の意を表したいと存じます。

さて、本大会に島根県からは二十八競技・総勢約五六〇名の選手団を派遣しました。各競技で手に汗握る熱戦を展開し、最終的には九競技において十二の入賞を獲得しました。

とりわけ、カヌー男子カナディアンシングル二〇〇M・五〇〇Mの二冠に輝いた中尾一稀選手（出雲農林）、そして陸上男子一一〇MHで圧勝した勝田築選手（開星）の活躍は圧巻でした。

実はこの両選手、昨年の本会報にもメッセージを寄せています。

昨年はカナディアンペアに出場し、得意の五〇〇Mで二位に終わった後、冷静に自らの弱点を分析していた中尾選手。また、昨年の一一〇MHで二位に入り「今度こそは一番上に上りたい」とのコメントを残した勝田選手。いずれも一年間の成長を見せつける結果を収めてくれました。

この両名のみならず、大会にエントリーした全選手のこれまでの努力に対して、心からの感謝を贈ります。ありがとうございました。

そして、今年悔しい思いをして、虎視眈々と来年の大舞台を狙う皆さん。中尾・勝田両選手のごとく、目標を高く掲げ、自らを律し、大いなる成長を遂げてください。

捲土重来。そのときを期待しています。

平成29年度 全国高等学校総合体育大会 インターハイ©

繋がる絆 魅せよう僕らの若き力

はばたけ世界へ 南東北総体 2017

「世界への第一歩」

開星高校　陸上競技部
勝田　築

（写真中央が開星高校　勝田　築選手）

高校最後のインターハイを終え、一番感じていることは、応援してくださった皆さんへの感謝です。去年は二位でしたが、今年は優勝という良いかたちで恩返しができたのではないかと思います。二年時にインターハイで二位という結果で、今年はそれなりのプレッシャーもありましたが、勝ちきることができたことは今後の自信にしたいと思っています。

しかし、記録は狙っていた高校記録には届かず、自己ベストも出ないという不甲斐ない結果となってしまいました。達成できなかった目標は、次への課題だと捉えてしっかりと練習に励みたいと思います。まだ、国体や日本ジュニアなどもあるのでインターハイ優勝で満足するのではなく、三冠を狙いたいと思います。

来年からは島根を離れ、大学生となります。生活も大きく変わりますが、これまでと違う環境の中で自分のすべきことをしっかりとこなすことを第一に考えています。今回のインターハイ優勝が世界への一歩となるように、まずは、質の高い練習を重ねることに集中し、第一学年から関東インカレや全日本インカレで決勝進出を目指したいと思います。そうした努力を積み上げることで、世界大会への出場を果たせると考えています。

これまでたくさんの方と関わり、支えてもらい、助けられたことや学んだことが数えきれないほどあります。そのすべての方への感謝の気持ちを忘れず、これからも応援してもらえる選手となり、もっと大きな恩返しをできるように精進していきたいと思います。

「満足と反省と」

出雲農林高校　カヌー部
主将　中尾　一稀

今回の南東北総体は、私にとって二度目のインターハイでした。昨年度の中国総体と岩手国体では、先輩とのペアで優勝をしていた事もあり、今回は結果が求められる大会になりました。また、チームとして昨年度の先輩達が大きな成果を上げられたので、私以外のメンバーも先輩達を越える結果を出すために気合い十分で山形県に乗り込みました。

（写真左が出雲農林高校　中尾一稀選手）

結果としては、出場した六種目で、優勝が二つ、準優勝が一つ、三位が一つというものでした。まずはチームとして最大の目標にしていた、三年連続インターハイ優勝が達成できたことに安堵しました。

私個人としては、カナディアンシングルの五〇〇mと二〇〇mの二冠を果たすことができました。距離が違うとレース展開や必要とされる能力が変わる中で、両方の距離で優勝することができ、実力を示すことができたと感じています。また、出雲農林高校カヌー部員として二冠を達成した選手は創部以来初めてということで、喜びは大きかったです。冬に韓国遠征に出るなど、様々な試みの中で苦しみに耐えた成果が出たと感じています。

しかし、ペア競技とフォア競技では準優勝や三位、不本意な準決勝敗退など、目標としていた出場全種目での優勝は果たすことができませんでした。完璧に準備したつもりでも、どこかに綻びが出るのが勝負だと痛感しました。満足と反省と、多くの経験を積むことができた大会になりました。

次代の後輩に向けて、これから迎えるオリンピックホープスやアジアジュニア選手権などの国際大会で成果を上げて、「国内で優勝して、世界で戦うための練習をしよう！」と背中で語れれば良いなと思っています。応援ありがとうございました。

（写真中央が出雲農林高校　中尾一稀選手）

「全国大会で結果を残す」

横田高校　ホッケー部
小早川　志穂

今年の全国高校総体で十九年ぶりの第三位という結果を残すことができました。三位という結果が残せたことはとても嬉しかったですが、チームの今年の目標として「日本一」と決めていたので今回の結果に満足はできなかったです。

今回の高校総体で印象に残っている試合は二試合あります。まず準々決勝で、栃木県立今市高等学校と対戦し四対二で勝利することができたことです。今まで今市高校と対戦した際には、なかなか勝つことができませんでしたが、今回勝利することができチームとしても個人としても自信をつけることができました。次に準決勝の試合です。対戦した福井県立丹生高等学校とは三月の全国選抜でも対戦し、その時には一対二で敗れていました。今回はそのリベンジを果たす意味でも絶対に勝ちたい相手でした。結果として三対四で敗れてしまいましたが、今までで一番良い試合ができたと思います。試合前のアップからチームの雰囲気も良く、緊張よりも楽しみという気持ちの方が強かったです。試合中も全員で一点でも多く点を取る思いで攻めていましたが、逆転され負けている場面でチャンスをものにできず悔しかったことは今でも思い出します。しかし、次は必ず決めてやると気持ちの切り替えをしたので、次の大会で対戦した時には絶対決めたいです。

今回の高校総体で経験したことを次につなげていき、今度こそ目標としている「日本一」を目指し、日々の練習で自分たちを追い込み、全国のチームを相手にどんな状況でも勝てるチームを作っていきたいと思います。応援ありがとうございました。

「インターハイを終えて」

出雲北陵高校　なぎなた部
青戸　真実

私は八月十日から十二日にかけて宮城県で行われたインターハイへ出場しました。結果は演技予選リーグ敗退、団体予選リーグ敗退ととても悔しい結果となりましたが、個人では三位入賞することができました。

団体予選リーグでは國學院栃木と熊本西高校と同じリーグでした。本校は五人制の団体を部員不足から四人で挑みました。國學院栃木には三－一で勝ち。熊本西高校との対戦は先鋒を不戦勝とし、私は次鋒で出場しました。一本取ることができず引き分け。中堅で熊本西高校のエースに一本取られてしまい、副将は引き分け。大将の石飛先輩は二本勝ち。結果は一－二で敗退。自分がきちんと一本取っていれば次に繋ぐことができたと、悔しい思いでいっぱいでした。

気持ちを切り替え挑んだ個人戦では、井上先生に「団体で負けて悔しかったら個人でリベンジしなさい。」と送り出され、悔しさをバネに試合に挑むことができました。苦しい展開もありましたが何とか勝ち上がることができ、ベスト4をかけた準々決勝では昨年インターハイ個人優勝の熊本西高校の春山選手との対戦となりました。団体で負けた熊本西の選手でもあったので、悔しさをぶつけて挑みました。春山選手とは、現在大学一年生の高田先輩が昨年のインターハイ個人決勝で、石飛先輩は三月の選抜大会の準決勝で対戦しており、私自身、戦い方のイメージを持つことができ、良い流れで試合を運ぶことができました。延長でも決着がつかず判定へ。結果は二－一で勝つことができ、初めて全国ベスト4へ入ることができました。準決勝では大分の同い年の三浦選手とあたりましたが、手元が浮いた一瞬を衝かれスネを取られて負けてしまいました。春山選手との対戦に集中しすぎ、勝ったあとに次に切り替えることができず、自分の精神的な弱さを痛感し、これまで高田先輩や石飛先輩が全国の舞台で決勝戦まで進まれた強さを改めて凄いなと思うことができました。

今回の大会で三位入賞できたのは、毎日指導してくださる井上先生や、卒業生の先輩方、石飛先輩や後輩、家族の支えのお陰であり感謝の気持ちでいっぱいです。自分の弱い部分を改善し、今後も目標の日本一を目指し頑張りたいと思います。

平成29年度　全国高等学校総合体育大会（南東北総体）成績

No.	成績	競技	種目	氏名	学校
1	1位	陸上競技	男子110mH	勝田　築	開星高校
2	1位	カヌー	男子カナディアンシングル200m	中尾一稀	出雲農林高校
3	1位	カヌー	男子カナディアンシングル500m	中尾一稀	出雲農林高校
4	2位	カヌー	男子カナディアンペア200m	中尾一稀 中尾勇稀	出雲農林高校
5	3位	ホッケー	女子	横田高校	
6	3位	カヌー	男子カナディアンフォア500m	出雲農林高校	
7	3位	なぎなた	試合	青戸真実	出雲北陵高校
8	4位	ボート	女子ダブルスカル	藤田咲良 沖田海里	江津工業高校
9	5位	柔道	男子60kg級	福間航基	開星高校
10	5位	フェンシング	女子サーブル	井塚千晶	安来高校
11	5位	レスリング	女子56kg級	向山　凪	隠岐島前高校
12	7位	弓道	男子団体	松江北高校	